



小村雪岱「おせん 傘」(資生堂アートハウス蔵)

開館15周年記念特別展 生誕130年 小村雪岱 —「雪岱調」のできるまで—

3月11日(日)まで開催中!

市立美術館 228-8080

大正期から昭和戦前期にかけて活躍した日本画家・小村雪岱(1887~1940)は、美術館の建つ郭町で生まれました。転居先の坂戸小学校を卒業後、東京美術学校(現在の東京藝術大学)で日本画の基礎を学び、装幀家として名をはせます。さらに、歌舞伎などの舞台装置や、大衆文芸の挿絵の分野へと活躍の場を広げ、人気画家となりました。簡潔で極細の描線、余白を生かした構図、白黒二階調の徹底した配色、そして華奢で個性のない美人像といった画風は、「雪岱調」とうたわれ賞賛されました。特別展では、挿絵を中心に、初期から晩年に至る雪岱の画業を紹介しています。この機会にぜひ、ご覧ください。

時間…午前9時~午後5時(月曜日を除く。入館は午後4時30分まで) 会場…同館
観覧料…600円(480円)▶大学生・高校生300円(240円)▶中学生以下無料

*()は20人以上の団体料金

■担当学芸員ワンポイント講座

特別展の見どころを学芸員が説明します。当日直接会場。

日時…3月8日(木)午後2時~2時30分 会場…同館 経費…無料

*美術館のその他の催しは、20ページでお知らせしています。

自転車損害保険への加入が義務となります。…2

4月1日(日)から加入を義務化。

小江戸蔵里 昭和蔵が生まれ変わります…4

3月10日(土)にオープンします。

*25日発行の広報川越は、翌月の行事などをお知らせしています。

●「虹のマーチ」が折り込まれています。

●「川越市バスマップ」が同時期に配布されます(問い合わせは、交通政策課 224-5519 225-9800)。